



# 消防団広報



## 操法県大会

桑名方面団・第六分団

七月十三日

大山田分署の指導者の下、四月から大会まで優勝を目指して連日訓練を重ねました。大会当日は悪天候の中、選手は訓練の成果を十分に発揮し頑張りました。その結果上位入賞は出来ませんでしたでしたが努力賞をいただきました。これからもこの経験をもとに団員一同が強い団結心を持って消防活動にまい進したいと思っておりますので、ご指導よろしくお願いたします。

出場選手

指揮者

一番員

二番員

三番員

四番員

吸管補助員

補欠員

水谷友泰

矢野英樹

加藤武士

中江 心

伊藤友一

水谷彰利

服部昭和



第三十一号 二〇十四年十一月  
編集・発行  
桑名市大字江場七番地  
桑名市消防団 企画情報部会

**木曾三川連合**

五月十八日

伊勢湾台風から五十五年に  
 当たる今年、桑名市長島町押  
 付地内において、木曾三川連  
 合総合水防演習・広域連携防  
 災訓練一が開催されました。  
 この訓練は昭和二十九年か  
 ら開始され、国と三重県・愛  
 知県・岐阜県及び地元市町村  
 の主催により、隔年で開催さ  
 れています。

**三重・愛知・岐阜  
水防演習**

本年度は会場が地元の桑名  
 市であるということも手伝っ  
 て、全ての団員が一丸となっ  
 て訓練に集中する姿は、とて  
 も頼もしいものでした。  
 竹流し工法やシート張り工  
 法などは、このような大規模  
 な演習の時でなければ訓練を  
 する機会がなく、水防演習の  
 実施前に自主的に訓練を行な  
 うなど、

団員にと  
 つて良い  
 刺激とな  
 ったよう  
 です。  
 いつ発  
 生するか  
 分からな  
 いのが天  
 災ですか  
 ら、常に  
 訓練を怠  
 らず、有  
 事に備え  
 ていなけ  
 ればなら  
 ないと思  
 います。

**総合防災訓練**

九月二十一日

大雨・高潮・暴風の特別警報  
 の発表。緊急速報エリアメー  
 ル・桑名市災害時緊急メー  
 ルを使い訓練の避難指示を発信。  
 消防団車両による広報活動を  
 行い指定避難所八十七ヶ所開  
 設し、避難していただいた方  
 には、非常食の配布やプライ  
 ベート間仕切り、プライバシー  
 トルーム、簡易トイレの見学  
 や設備体験をして頂きました。

**新任紹介**

多度方面団

副団長  
葛西 茂裕

この度、副団長の重責を担  
 うこととなり、身の引き締ま  
 る思いがいたします。  
 災害時における被害を最小  
 とするためには、地域に密着  
 した団体である消防団が、各  
 種団体と協働することで総合  
 的な防災力を発揮しなければ  
 なりません。  
 新たな防災体制に対応する  
 ため、私の若さを生かすこと  
 ができればと考えております。  
 皆さまのご支援とご協力を  
 賜りますようお願い申し上げ、  
 新任のご挨拶とさせていただきます。

その他一部、分団長が新任  
 されました。

桑名方面団  
 第九分団 福田 正道  
 多度方面団  
 第三分団 高井 和幸  
 第五分団 隈田 寿  
 長島方面団  
 第五分団 伊藤 広法

**桑名方面団**

春季消防団教養訓練

三月二日



揖斐川右岸堤防河川敷で遠距離中継送水、並び入団二年未満の消防団新入団員に対し礼式各個訓練を実施しました。遠距離中継送水にあつては、昨年と同様の内容でしたが、中継距離をより長くして、より現実的な訓練となりました。車両五台を擁し遠距離送水、放水消火訓練に一人一人が正確に、迅速にと目的意識を持ちながら取り組みました。各

車両間の連携、意志の疎通、また異なった消防車両中継器等、課題克服には繰り返し反復訓練が必要のだと痛感しました。後日、改めて課題克服に努めた分団もあつたようです。

新入団員訓練については、今後の消防団活動を担って行くよう、先ず基本動作の習得に励んでいました。その眼には、頼もしさを感じました。

**多度方面団**

規律・水防訓練

四月二十七日

新入団員を迎えた年度初の行事として、基本的な技術の習得と確認を行うため、多度町総合支所駐車場において実施しました。

規律訓練では、基本的な姿勢や右向け右、回れ右、敬礼などの動作を確認したあと、響きわたる大きな号令や掛け声とともに、各分団で整列や隊形変更、かけ足呼称を行ないました。

水防訓練では、土のう拵え



に始まり、水位が上がると堤防を越えそうな時に行う「積み土のう工」、堤防な

どから漏水した時に漏水口の拡大を防ぐ「月の輪工」を実施しました。

半日の訓練でしたが、いっ大きな災害に襲われてもおかしくはないという地域性のため団員の防災意識は高く、また、木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練の実施が迫っていることもあつて、真剣な表情で訓練に取り組みました。

**長島方面団**

消防技術競練会

三月十六日

団員の礼節・規律を正すとともに、日ごろ各分団の訓練の成果を発揮する場として毎年、年度末に長島防災コミュニティセンターで行われています。

訓練の内容は第一訓練と第二訓練があり、第一訓練では訓練礼式として、停止間における各個訓練及び小隊訓練で、指揮者の「集まれ」の号令から、基準タイム三分以内で指揮者の指示通り部隊が的確に行動できているかが求められました。各分団きびきびとした動きで、日ごろの訓練の成果が十分に発揮されていました。

第二訓練は火災想定訓練として、駐車場一帯を使い、出場から水利部所・ホース延長・実放水までの火災防衛活動訓練を行いました。予め定められた火災想定に沿った実放水訓練で、団員の安全確保・迅速かつ適切な行動・連



携等が求められ、第一標的のドラム缶への注水と、第二標的の円盤を落下させるまでのタイムで競われました。

今回上位入賞した分団の皆さん、惜しくも入賞を逃した分団の皆さん、それぞれ来年度に向け団の結束と技術の向上に取り組んでいくことに決意を新たにしていました。

※訓練結果は次のとおりです。

- 一位 第四分団
- 二位 機動分団北部班
- 三位 機動分団中部班

**新入団員教養訓練**

四月二十日



長島防災コミュニティセンターにて、現職の消防隊員の方より規律訓練、器具取扱訓練を通して必要な知識、スキルを指導していただきました。

規律訓練では、式典での礼式や、団員一人ひとりが統率のとれた動きで災害時に素早く性格に行動できるようにするための訓練が行われました。器具取扱訓練では、器具の正しい取り扱い方や取り扱う上での注意点を教えていただきました。実際にホースを使

い、繰り返し練習をして、その都度丁寧に説明、指導をしていただき、理解と精度を上げることができました。

今回の訓練で学んだ知識と技術を今後さらに磨き上げ、地域防災の役に立ちたいです。

**安全管理セミナー**

四月二十日

各方面団の幹部消防団員を対象に長島防災コミュニティセンターにて開催されました。

今回初めての試みであり、消防団活動における事故・公務災害の防止を図るべく、消防団員の安全管理と健康管理の重要性の理解を深めるのが目的となります。

主な内容としては  
 ①災害事故発生要因や事故防止対策の考え方  
 ②健康管理の考え方  
 ③災害現場における指揮・連携活動及び資機材による安全確保の考え方などを受講しました。  
 消防団活動は市民の生命と

財産を守るのが主務でありますが、そのベースには消防団員における安全管理の徹底が固持されなければならないと再認識しました。

**幹部視察研修**

五月三十一日・六月一日

静岡県地震防災センターと航空自衛隊浜松基地で消防団幹部視察研修が行われました。

静岡県地震防災センターでは、津波発生のメカニズムを模型を使っての実演で海底の地形に抛り津波の大きさが変わる様を見せていただきました。地震体験コーナーでは実際の地震と同じように前後・左右・上下と三次元方向に動

く大型起震装置で震度七の揺れを体験し、家庭内地震対策コーナーにて地震直後の部屋の様子や耐震補強について学びました。TSUNAMIシアターでは東北大地震による大津波の実写映像を、その場に居るかのような迫力ある230インチ大画面で視聴し、津波の恐ろしさを学習しました。

また、航空自衛隊浜松基地では日本の空を守る自衛隊機の実機展示や、ビデオ映像を見学してきました。

**サポート事業所募集**

みんなの街を守る消防団を応援しましょう

桑名市内の事業所の皆様に、事前に登録していただき、「桑名市消防団員証」を提示すれば、各種サービスや割引などを提供したり、団員募集のポスターを提示するなど、様々なかたちで、桑名市消防団を応援していただく事業所のことです。

サポート事業所には、消防本部から「表示証」を交付します。



詳しくは、消防本部・総務課

TEL 24・5274



## 新しい地図記号が追加されました



2014年4月、新しい地図記号が追加されました。



「非常口」のサインにそっくりですね。

これらは、左から「緊急避難場所」、「避難所」、「避難所兼緊急避難場所」をそれぞれ意味しています。



## 避難所と避難場所の違いは？



### 避難所

災害による家屋の倒壊や焼失などの被害を受けた方、または被害を受ける恐れがある方が、一定の期間、避難生活をする場所です。ここでは、飲料水やトイレなどを備えています。学校や公民館などの公共施設が指定されています。

### 避難場所

避難所以外に、災害で危険になったときに避難する「一時避難地」を含みます。一時避難地は、災害がおさまるまで一時的に待つ場所ですので、食料や水の備えのない場所もあります。一時避難地には、公園や立体駐車場などが指定されています。

桑名市のホームページにも「桑名市避難場所マップ」が用意されていますから、自分の生活圏に近い避難場所を確認しておきましょう。



## すぐに命を守る行動を取りましょう



2014年8月に全国広範囲に被害をもたらした台風11号では、四日市市・鈴鹿市全域を含めた約150万人に「避難指示」が出ました。桑名市でも「避難準備情報」が出て、避難所が開設されました。他にも多くの地域で「避難勧告」も出ていましたね。どれも良く似た言葉で紛らわしいですが、

**避難指示**

>

**避難勧告**

>

**避難準備情報**

というように、左へ行くほど危険な状況なのです。勘違いしやすいのですが「勧告」よりも「指示」の方がより強いのですね。ちなみに「避難命令」はありません。

「避難指示」が出るというのは、かなり切迫した状況ですから、すぐに命を守る行動を取りましょう。

勧告や準備情報が出た場合も、次の行動が取れるように準備をして下さい。

避難場所へ移動するだけが「避難」ではありません。自宅の二階へ移動する方が安全な場合もあります。水害の時・地震の時、自分が取るべき行動を普段から考えておきましょう。

桑名を襲った伊勢湾台風から55年が経ちました。

# 急募!!! 女性消防団員!!!



## 女性消防団

近い将来必ずやって来る大災害に備えるためにも、女性ならではの活動が必要とされています。  
私たちの町は私たちが守りましょう！



消防団員は、常勤の消防職員を補完する、非常勤特別職の地方公務員です。会社員や公務員はもちろん、主婦や大学生も入団できますし、活動に応じた手当も支給されます。

女性消防団は、防災に関する指導・啓発や、非常災害時における支援活動を行う、大変重要な役割を担っており、今後ますます必要とされる存在です。

しかし、20名の定員に対し、約半数のメンバーでの活動が続いています。あなたの力を、女性消防団で活かしてみませんか？



目的に合わせて、様々なユニフォームで活動しています。

女性消防団の活動はブログでもご覧いただけます。

**桑名市女性消防団 検索 ←クリック！**

問い合わせ・連絡先：桑名市消防本部(0594)24-5274